

Nakabayashi

ナカバヤシ・シュレツダ AS-206LI

取扱説明書

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう大切に保管してください。
- この製品を譲渡する場合は、必ず製品にこの『取扱説明書』を添付して、次の保有者に渡してください。



AS-206LIの特長

- 負荷状況をリアルタイムで確認できるLEDインジケーターを搭載
- “ちょうど良い”サイズのA3対応コンパクト機
- プライバシーを守るクロスカットタイプを採用
- 待機電力ゼロ機能で待機時電力を0Wにカット
(0Wは、ノイズフィルターなどの漏れ電流を除いた値です)
- 移動に便利なキャスター付き

主な機能

オートスタート&ストップ

- 紙を入れると自動的に細断を始め、細断を終えると自動的に停止する便利なオートスタート/ストップ機能。

オートリバース

- 能力以上の紙を入れると自動的に逆転し、カッターやモーターへの悪影響を防止します。

満杯検知&アラーム

- 細断紙片が満杯になると、自動停止し、ランプと音でお知らせする親切な機能。

切り屑飛散防止ガード

- チップボックスからの細断紙片の飛散を最小限に抑え、クリーンなオフィス環境づくりに役立ちます。

安全装置

オートカット

- 過熱防止機能付き。モーターの温度が一定以上になると検知し、自動停止します。

自動運転停止機能

- 細断中、紙の付着などにより投入口のセンサーが約30分間細断物を検知し続けた場合に自動停止します。

ドアスイッチ

- 運転中に扉を開けると、動作を自動的に止める安全スイッチ。

ヒューズ

- 電気回路やモーターに過電流が一定時間以上流れると、自動的に電源が切れます。

ストッパー

- キャスターにはストッパーが付いており、万一の地震などによる機械の移動を防止し、機械損傷等の事故の危険性を低減します。

目 次

1 . <u>安全上の注意事項</u>	1
2 . <u>機械の設置</u>	4
3 . <u>各部名称と働き</u>	6
4 . <u>操作方法</u>	10
<u>操作の前に</u>	10
<u>操作方法</u>	11
<u>省エネモードについて</u>	12
<u>自動運転停止機能について</u>	13
<u>操作上の注意</u>	14
5 . <u>簡単なトラブル処置</u>	15
6 . <u>紙詰まり・細断紙片の処理方法</u>	16
<u>紙詰まりの処理方法</u>	16
<u>細断紙片の処理方法</u>	17
7 . <u>機械のお手入れ</u>	18
<u>カッターのお手入れ</u>	18
<u>機械本体のお手入れ</u>	19
<u>満杯センサーの掃除</u>	20
8 . <u>主な仕様</u>	21
9 . <u>保証とアフターサービス</u>	裏表紙

1. 安全上の注意事項

ナカバヤシ・シュレッタを安全にお使い
いただくために、必ずお守りください。

この『取扱説明書』では、以下のマークで注意事項を示します。

表 示 内 容	マ ー ク
<p>禁止事項を示します。 禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、けがを負う危険があります。 禁止の内容を⊘の中に絵文字で示します。</p>	
<p>要請事項を示します。 要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。 要請の内容を●の中に白抜き絵文字で示します。</p>	
<p>注意事項全般を示します。 取り扱いの誤りによって、危険や損害が発生する可能性があります。発生する危険や、損害の程度によってマークの横に「警告」、「注意」と表示します。 警告： 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される場合。 注意： 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみの発生が、想定される場合。</p>	

!! このマークは機械を使用する際の保守上の注意を示します。

☆ このマークは機械を使用する際の補足や参考を示します。

⚠ 警 告	
<p>●子供使用禁止</p> <p>・子供（特に幼児）をこの機械に近づけてはいけません。内部にはカッターがあり、思わぬ事故のおそれがあります。この機械を操作できるのは、大人だけです。</p>	
<p>●手、衣類、髪の毛、社員証、ネックレスなどの巻き込み注意</p> <p>・投入口および排出口には、絶対に指を入れてはいけません。手を切るおそれがあります。</p> <p>・服、ネクタイ、ネックレス、頭髮、社員証等を巻き込まれると、けがをするおそれがあります。</p>	
<p>●可燃スプレー厳禁</p> <p>・可燃性ガス、可燃性溶剤等を含むスプレーを使用してはいけません。引火、爆発のおそれがあります。</p>	
<p>●電池投入禁止</p> <p>・小形二次電池、ボタン電池等を投入口から入れてはいけません。発熱、発火、破裂するおそれがあります。</p>	

1. 安全上の注意事項

ナカバヤシ・シュレツダを安全にお使い
いただくために、必ずお守りください。

⚠ 警 告

●のぞき込み禁止

- ・まれに投入口より細断片が飛び出してくることがあります。細断中は投入口をのぞき込んだり、手を近づけたりしてはいけません。けがをする原因となるおそれがあります。



●分解、改造、修理の禁止

- ・この機械を分解してはいけません。けがの原因となるおそれがあります。
- ・この機械を改造してはいけません。火災や感電、けがの恐れがあります。また、お客様による修理は、危険な場合がありますから、絶対にしてはいけません。
- ・この機械のカバー、キャビネットを外してはいけません。内部には電圧の高い部品があり、感電のおそれがあります。



●紙以外の細断禁止

- ・CD/DVD/FD(プラスチック、ガラス、金属片等を含む)を入れてはいけません。細断片でけがをするおそれがあります。また、故障の原因になります。



●指定電源以外は使用禁止

- ・表示された電源電圧以外の電圧で使用してはいけません。また、タコ足配線をしてはいけません。火災、感電のおそれがあります。
- ・複数口のOAタップや延長コードは使用しないでください。



●アース線の接続

- ・アースに接続してください。アースに接続されないで漏電した場合は、火災や感電の恐れがあります。アースに接続できない場合は、販売店あるいは保守・サービス会社にご相談ください。



●万一、異常が発生したら

- ・万一、発熱、発煙、異臭などの異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。
- ・万一、異物(金属片、水、液体)が機械の内部に入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。
- ・この機械を落としたりカバーを破損したりした場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。
- ・電源コードが破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ご自分で修理すると、火災や感電のおそれがありますので、販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



●電源プラグ、コードの取り扱い

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししてはいけません。感電の原因となるおそれがあります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したりしてはいけません。また、重たいものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災や感電のおそれがあります。



1. 安全上の注意事項

ナカバヤシ・シュレッダを安全にお使い
いただくために、必ずお守りください。

⚠ 注 意

●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置いてはいけません。落ちたり倒れたりして、けがの原因となるおそれがあります。



●この機械の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしてはいけません。火災や感電の原因になるおそれがあります。



●電源コードおよび電源プラグは、奥まで確実に差し込んでください。挿入が不完全だと火災や故障の原因になるおそれがあります。



●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張ってはいけません。コードが傷つき、火災や感電の原因になるおそれがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



●電源コードに触れると、通電したりしなかったりする場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



●運転中に異常な音や振動がする場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままでは使用できません。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



●この機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因になるおそれがあります。



●屋外など、湿気やほこりの多い場所に置いてはいけません。火災や感電の原因になるおそれがあります。



●調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置いてはいけません。火災や感電の原因になるおそれがあります。

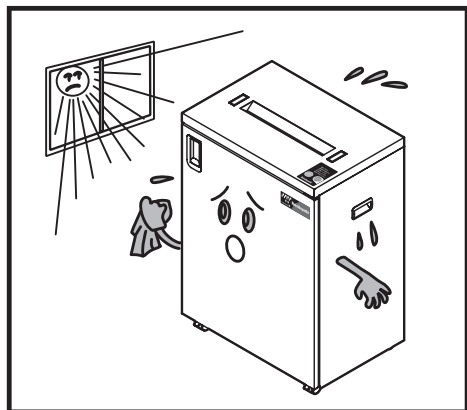


●この機械の天パネルの上へ、飲料水等をこぼしてはいけません。火災や感電の原因になるおそれがあります。

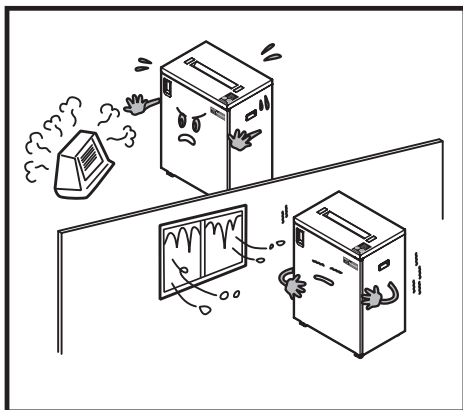


2. 機械の設置

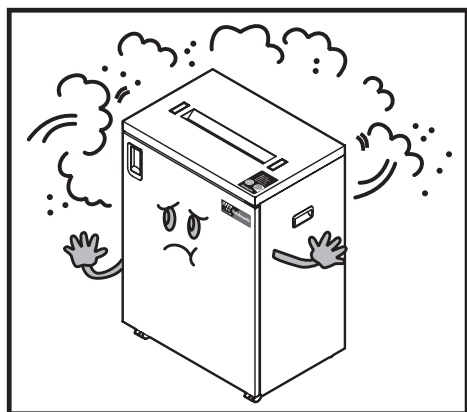
次のような場所への設置は避けてください。



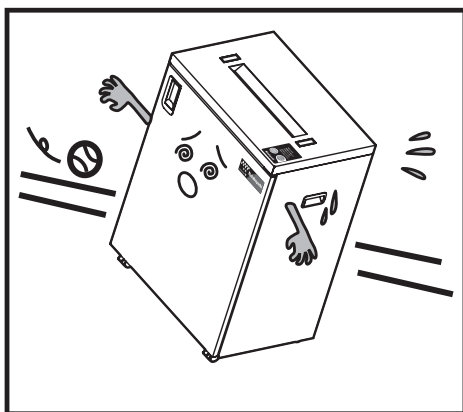
・直射日光のあたる所



・極端に温度や湿度が高い
または低い所



・ほこりや振動の多い所

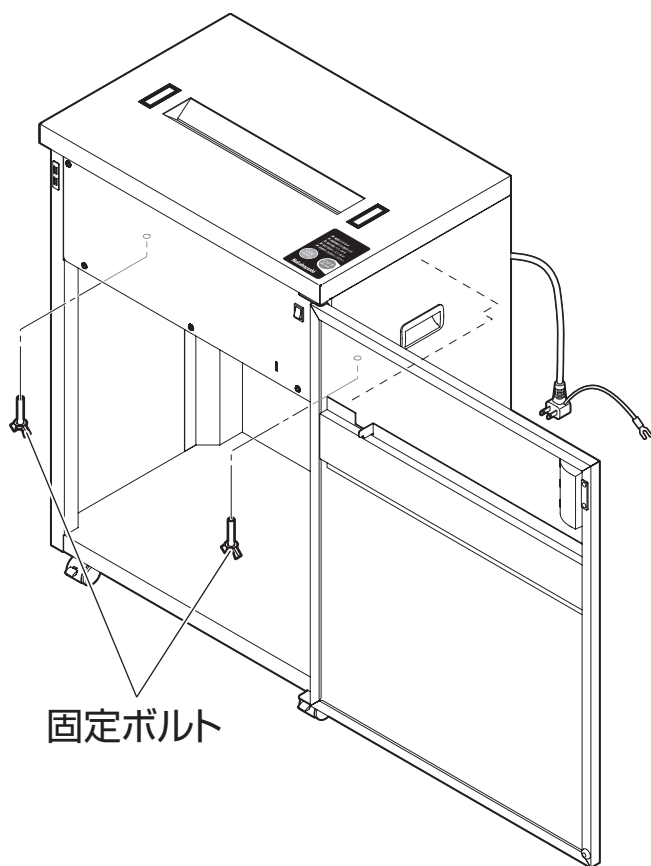


・水平でないなど、不安定な所

☆設置時の注意事項：アース線は必ず接地してください。

2. 機械の設置

設置時のお願い



固定ボルト

- 運送中の破損防止のため、細断ユニットを固定ボルト2本で、本体に固定してあります。設置時には必ずこの2本の固定ボルトを外してください。
- 再度運送する際には、必ず2本の固定ボルトで、細断ユニットを本体に固定してください。
- 固定ボルトは大切に保管してください。

3. 各部名称と働き

⚠ 注意

- 危険が生じた場合は、OFF/逆転スイッチを押してください。カッターが停止します。

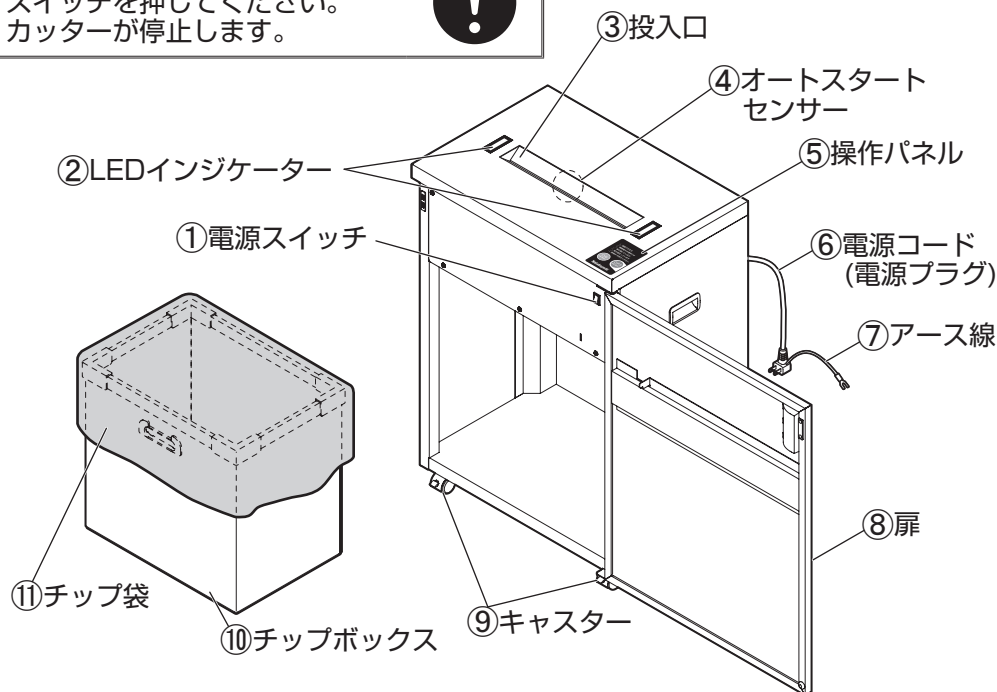


図1 外観図



- 本機は紙専用シュレッダです。紙以外の物は、細断しないでください。

⑫細断可表示ランプ

⑬満杯表示ランプ

⑭扉開き表示ランプ

⑮紙詰まり表示ランプ

⑯過熱表示ランプ

⑰ON/正転スイッチ

⑱OFF/逆転スイッチ



図2 操作パネル拡大図

3. 各部名称と働き

①電源スイッチ

…このスイッチの上側を押すと電源が入ります。逆に下側を押すと電源が切れます。

図3 参照

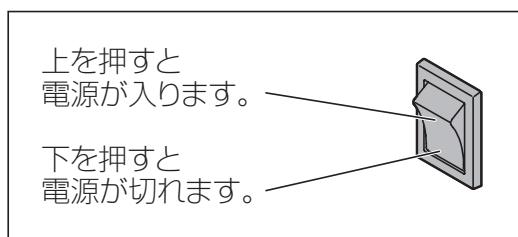


図3 電源スイッチ拡大図

②LEDインジケーター

…紙の投入による負荷状況をLEDの色の変化でリアルタイムに表示します。

青

緑

赤

負荷(小)

負荷(大)

☆青～緑でご使用いただくことで過負荷を防ぎ故障率の軽減に貢献します。

☆あくまでも目安としてお考えください。紙質、湿度、電圧等によって変わります。

③投入口

…細断する紙をここから投入します。



●投入口から次のようなものを投入してはいけません。
故障の原因になります。



・濡れたり湿ったりしている紙



・ビニール袋などの樹脂製品



・衣類などの布



・OHPフィルムやカーボン紙



・粘着シールや粘着シールを貼っている紙



・クリップや安全ピンなどの金属



・折り曲げて定格細断枚数以上になった紙



・水などの液体

3. 各部名称と働き

④オートスタートセンサー

…細断可表示ランプが点灯しているとき、投入した紙をこのセンサーが検知して自動的に細断を開始します。

☆細断する紙は、投入口の中央に合わせて投入してください。

☆名刺やはがきなど幅が狭い用紙は、センサー部を通過しないとオートスタートが働きません。また黒色や透明に近い紙も検知されないことがあります。その場合はON/正転スイッチを押し続けながら細断してください。

☆細断が始まったら、紙から手を離してください。

⑤操作パネル

…機械を操作するスイッチ類があります。

P6 図2 参照

⑥電源コード（電源プラグ）

…このコードの電源プラグをAC100Vの電源コンセントに接続してください。

⑦アース線

…電源コンセントのアース端子または、接地工事を行ってある端子に接続してください。

⑧扉

…チップボックスを出し入れするときに開けます。

⑨キャスター

…機械底面に4個取り付けてあり、前部の2個はロック付です。機械を移動するときには、キャスターのレバーを上げてロックを解除してください。機械を使用する場合は、レバーを下げてキャスターをロックしてください。

図4 参照

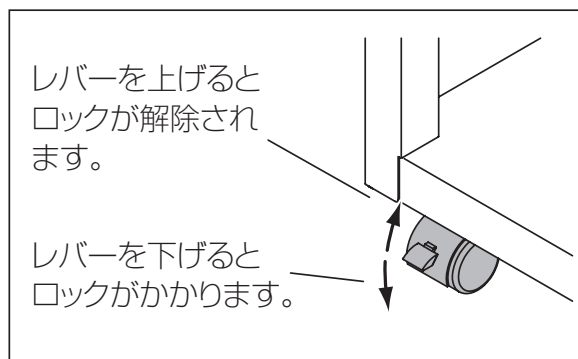


図4 キャスター拡大図

3. 各部名称と働き

⑩チップボックス

…機械内部に入れて、細断紙片を受け止めます。

⑪チップ袋


…細断紙片の飛び散りがなく処理できます。

⑫細断可表示ランプ

…細断可能な状態のとき点灯します。

⑬満杯表示ランプ

…チップボックスが細断紙片で満杯になると点灯します。このとき機械は残った紙を細断した後停止します。細断紙片の処理をして、ON/正転スイッチを押してください。

 ●細断紙片を処理するときは、細断紙片がこぼれないように、チップボックスを軽く前後左右にゆすってから、ゆっくりと引き出してください。

⑭扉開き表示ランプ

…扉を開くと点灯します。閉めると消灯します。その後ON/正転スイッチを押すと、細断可能な状態になります。

⑮紙詰まり表示ランプ

…投入した紙が多すぎて、機械が停止した場合に点灯します。このとき、機械は一定時間逆転します。紙を取り除いて、ON/正転スイッチを押してください。

P16『紙詰まりの処置方法』参照

⑯過熱表示ランプ

…過負荷などでモーターが過熱した場合に、機械が停止して点灯します。モーターの温度が下がるまで30分程度放置してください。その後、このランプが消えたら、ON/正転スイッチを押してください。

⑰ON/正転スイッチ

…このスイッチを押すと電源が入り、細断できます。このスイッチを押し続けると、正転します。

⑱OFF/逆転スイッチ

…このスイッチを押すと、細断を停止して電源が切れます。このスイッチを押し続けると、逆転します。

4. 操作方法

操作の前に

1. キャスターのレバーを下げて、ロックしてください。 P8 図4 参照
2. チップボックスにチップ袋をセットし、本体の奥に当たるまで押し入れてください。

!! ●チップ袋は、チップボックスの内側に密着するようにセットしてください。密着が不十分な場合、満杯センサーの誤動作や細断チップが飛散する原因になります。 図5 参照

3. 電源コードの電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
アース線をアース端子に接続してください。

!! ●複数口のOAタップや延長コードは使用しないでください。直接、元電源のコンセントに電源プラグを挿して使用してください。また、他のOA機器と同一の所から電源を取らないでください。

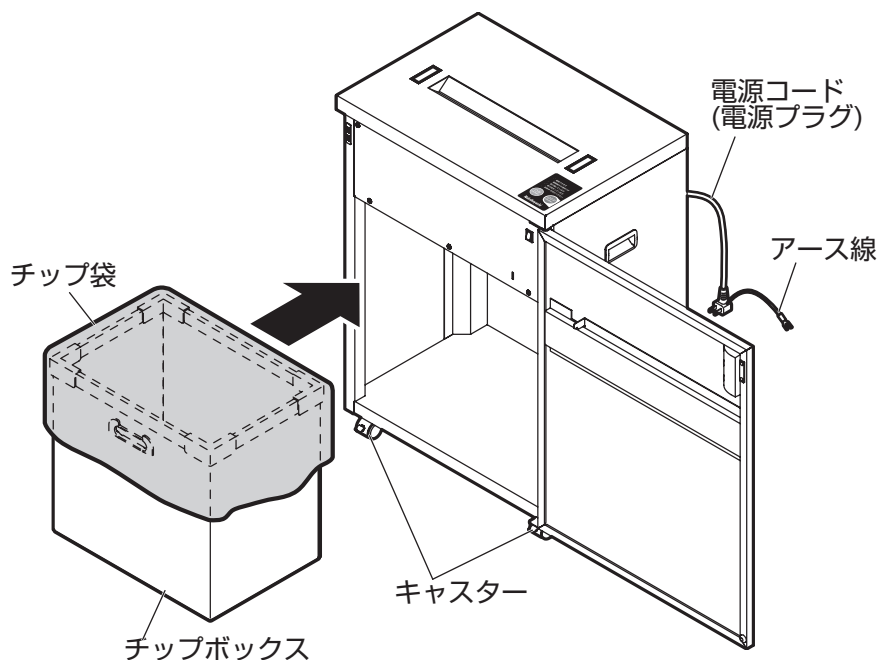


図5 チップボックスのセット

4. 操作方法

操作方法

- 1.扉を開けて電源スイッチの上側を押してください。 P7 図3 参照
- 2.扉を閉めてください。
- 3.ON/正転スイッチを押して、細断可表示ランプの点灯を確認してください。 P6 図2 参照

●オートスタートの場合

- 4.細断する紙を投入口の中央に合わせて投入してください。オートスタートセンサーが紙を検知して、自動的に細断を開始します。
- 5.投入した紙が無くなると、シュレツダは自動的に停止します。
- 6.再度、紙を投入するとオートスタートセンサーが紙を検知して細断を開始します。紙が無くなると、自動的に停止します。

☆名刺やはがきなど幅が狭い用紙は、センサー部を通過しないとオートスタートが働きません。また、黒色や透明に近い紙も検知されないことがあります。その場合はマニュアルスタートで細断してください。

●マニュアルスタートの場合

- 4.ON/正転スイッチを押し続けながら、細断する紙を投入口に投入してください。
- 5.細断音が消えてから約5秒間、そのままON/正転スイッチを押し続けてください。
- 6.ON/正転スイッチを離してください。シュレツダが停止します

4. 操作方法

省エネモードについて

●待機電力ゼロ機能

…何も操作をせずに一定時間(約10分)経過しますと自動的に細断可表示ランプが消灯します。(待機状態)

…再度ON/正転スイッチを押すと、細断可表示ランプが点灯して、自動的に細断を開始できる状態に復帰します。

☆OFF/逆転スイッチを押すと、すぐに待機状態になります。

☆自動的に待機状態になるまでの時間は、変更することが出来ます。変更したい場合は、販売店までお問い合わせください。

4. 操作方法

自動運転停止機能について

- 投入口のオートスタートセンサーが、約30分間紙を連続検知している状態で運転すると、細断可表示ランプが消灯して自動的に運転を停止します。
 - …そのままの状態ですぐに待機状態になります。
 - …投入口に紙が残っていないか確認してください。残っている場合は、紙を取り除いてください。 **P16「紙詰まりの処理方法」参照**
 - …ON/正転スイッチを押すと、細断可表示ランプが点灯して、自動的に細断を開始できる状態に復帰します。
 - …再度、紙を投入してください。細断を開始します。

 ●使用しない場合は、安全のため電源スイッチの下側を押して電源を切ってください。 **P7 図3 参照**

4. 操作方法

操作上の注意



- 連続して使用される場合には、定格細断枚数の10枚(50Hz)/9枚(60Hz)以下でご使用いただくと、刃物に負担がかからず円滑に細断が出来ます。細断枚数は、紙質、湿度、電圧等によって変わります。
- 過熱表示ランプが点灯してシュレツダが停止した場合は、過負荷などによりモーターが過熱状態になっています。モーターの温度が下がるまで、30分程度放置してください。モーターの温度が下がると、過熱表示ランプが消灯しますので、ON/正転スイッチを押して、細断可表示ランプの点灯を確認してください。

注 意

- たびたび過熱表示ランプが点灯する場合は、OFF/逆転スイッチを押して、電源コードのプラグを抜いてください。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



5. 簡単なトラブル処置（故障かな？と思ったら）

こんなときには…	処置	参照頁
●シュレツダが動かない		
（細断可表示ランプが点灯しない）		
・電源コードは接続されていますか？	電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。	P10
・電源スイッチは入っていますか？	電源スイッチの上側を押してください。	P7 図3
・待機電力ゼロ機能により、電源が切れていませんか？	ON/正転スイッチを押してください。	P12
（扉開き表示ランプが点灯している）		
・扉が開いていませんか？	チップボックスを奥まで入れて、扉を閉めてください。	P10
（満杯表示ランプが点灯している）		
・チップボックスが満杯ではありませんか？	細断紙片の処理をしてください。	P17
（紙詰まり表示ランプが点灯している）		
・投入口に細断物や細断紙片が残っていませんか？	投入口に残っている細断物や細断紙片を取り除いてください。	P16
（過熱表示ランプが点灯している）		
・定格細断枚数より多い枚数で長時間の連続細断をしたり、紙詰まりを連続して起こしたりしていませんか？	30分程度放置して、モーターを冷やしてください。過熱表示ランプが消灯してから、ON/正転スイッチを押してください。	P14
●紙を投入しても、細断を開始しない		
・オートスタートセンサーを通過するように紙を投入していますか？	オートスタートセンサーを通過するように紙を投入してください。または、マニュアルスタートで細断を行ってください。	P6/P11
●細断紙片の処理をしても、すぐに満杯表示ランプが点灯する		
・満杯センサーに紙粉等が付着していませんか？	満杯センサーの掃除を行ってください。	P20
●細断が終了しても刃物が止まらない		
・投入口に細断紙片が残っていませんか？	オートスタートセンサーが紙を検知している可能性があります。投入口に残っている細断物や細断紙片を取り除いてください。	P6 図1

⚠ 注 意

- 処置をしても状態が改善されない場合は、販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



6. 紙詰まり・細断紙片の処理方法

紙詰まりの処理方法

- 投入した紙が多すぎると、紙詰まり表示ランプが点灯して、モーターが一定時間逆転して停止します。このときブザー音が鳴ってお知らせします。
以下の手順に従って、紙詰まりを処理してください。
- 1.投入口より紙を取り出してください。紙詰まり表示ランプが消灯します。
- 2.紙が詰まって取り出せないときは、OFF/逆転スイッチを押し続けてモーターを逆転させ、戻ってきた紙を取り除いてください。紙詰まり表示ランプが消灯します。
☆紙が取り除けない場合は、ON/正転スイッチを押し続けて細断してください。
- 3.ON/正転スイッチを押して細断可表示ランプを点灯させてください。
- 4.紙の量を減らして、再投入してください。

注 意

- 細断途中、または細断直後に扉を開けた場合、シュレツダのカッターは、惰性によりすぐには停止できません。電気回路の故障によりカッターが回転する場合がありますので、内部には絶対に手を入れてはいけません。



6. 紙詰まり・細断紙片の処理方法

細断紙片の処理方法

- チップボックスが細断紙片で満杯になると、満杯表示ランプが点灯し、残った紙を細断した後停止します。このとき、『ピーッ』というブザー音が3回鳴ってお知らせします。

以下の手順に従って、細断紙片を処理してください。

- 1.扉を開けてチップボックスを引き出し、細断紙片を捨ててください。

- 細断紙片を処理するときは、細断紙片がこぼれないように、チップボックスを軽く前後左右にゆすってから、ゆっくりと引き出してください。

- 2.チップボックスにチップ袋をセットしてシュレッドに入れてください。

P10『操作の前に』参照

- 3.ON/正転スイッチを押して、細断可表示ランプを点灯させてください。

☆細断紙片は、オフィス古紙としてリサイクルできます。

注 意

- 満杯表示ランプが点灯した場合は、細断紙片を必ず処理してください。無理に細断紙片を詰め込みますと、チップボックスを取り出す際に、細断紙片が飛散する原因となります。



7. 機械のお手入れ

カッターのお手入れ

- 本機を末永くご使用いただくために、定期的にカッター部分に別売りのオイルを注油してください。

注油方法

- 1.紙の上にオイルを図のように塗布してください。
- 2.その紙を別紙で上下からはさみ、オイルを紙によくなじませてください。
- 3.そのまま紙束を細断してください。

図6 参照

☆オイルは別売りの専用オイルをご使用ください。オイルの購入は、販売店までお問い合わせください。

⚠ 注 意

- 注油をする際は、オートスタートセンサーにオイルが直接付着しないように注意をしてください。オイルが付着すると、細断紙片や紙粉が付き、誤作動を起こすおそれがあります。

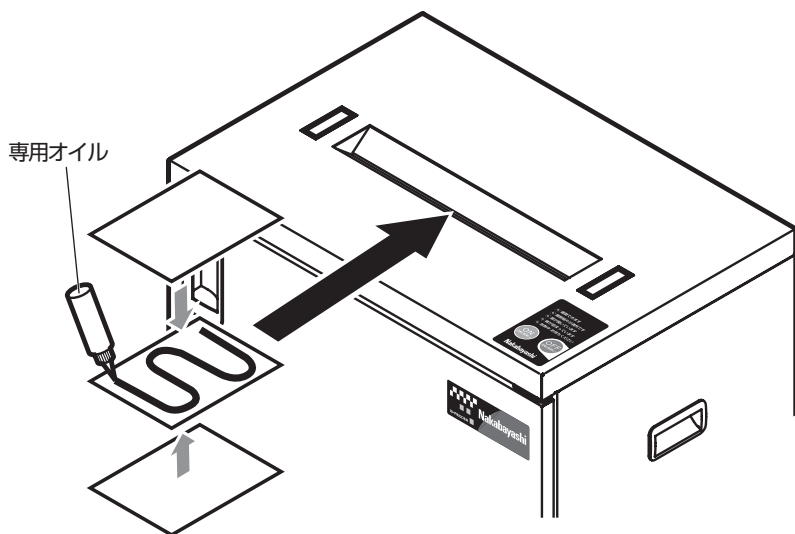


図6 注油方法

7. 機械のお手入れ

機械本体のお手入れ

- 機械本体についた汚れは、柔らかい布などで拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をふくませ、軽く絞った布で拭いてください。



- 機械本体を揮発性の溶剤（シンナー、ベンジン等）では拭かないでください。変色や変形するおそれがあります。

注 意

- 機械内部、及びカッター部に絶対に手を入れてはいけません。手を切る、または感電するおそれがあります。



7. 機械のお手入れ

満杯センサーの掃除

- 紙粉や細かい細断紙片が満杯センサーに付着すると、満杯センサーの感度が落ち、細断紙片がチップボックスからあふれる場合があります。定期的に掃除を行ってください。

掃除方法

- 1.電源スイッチの下側を押して電源を切り、電源コードの電源プラグを抜いてください。

!! ●センサーを揮発性の溶剤(シンナー、ベンジン等)では拭かないでください。故障するおそれがあります。

!! ●センサーを固い物(金属製工具、ドライバー等)でこすったり叩いたりしないでください。傷がついたり、誤作動を起こしたりするおそれがあります。

⚠ 注 意

- 必ず電源を切ってください。電源を切らずに作業を行うと、機械が作動した場合、けがをするおそれがあります。



- 2.満杯センサーに付着した紙粉や細かい細断紙片を柔らかい布等で取り除いてください。

図7 参照

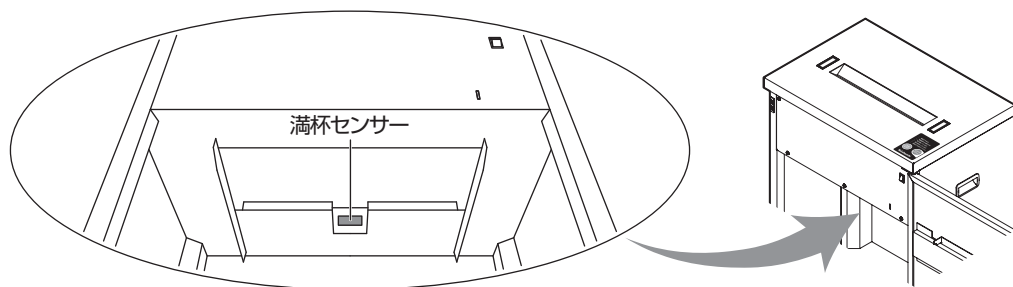


図7 満杯センサーの掃除

8. 主な仕様

型 式	AS-206LI
細 断 寸 法	約3×25mm
定 格 消 費 電 力	176W(50Hz)/210W(60Hz)
定 格 細 断 枚 数 ^{*1}	10枚(50Hz)/9枚(60Hz)
最 大 細 断 枚 数 ^{*1}	約15枚(50Hz)/約14枚(60Hz)
投 入 幅	310mm
定 格 電 圧	100V、50Hz/60Hz
外 形 寸 法	500(W)×340(D)×700(H)mm
質 量	約43kg
チップボックス容量	46L
付 属 品	チップ袋

^{*1} A4上質紙64g/㎡ タテ方向

注：細断枚数は、紙質、湿度、電圧、投入方法によって変化します。
改良のため、予告なく仕様、外観を変更することがあります。

9. 保証とアフターサービス

◆保証書(別添付)

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から必ずお受け取りください。また、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間中に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理を依頼してください。無償にて修理させていただきます。詳しくは保証内容をご確認ください。

◆保証期間終了後の修理

お買い上げ販売店、または取扱説明書に記載している事業所までご連絡ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。

◆保守部品の保有期間について

当社はこの製品の保守部品を製造打ち切り後、7年保有しています。

◆アフターサービスについてご不明な点は

お買い上げ販売店、または取扱説明書に記載している事業所までお問い合わせください。

◆本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。消耗品の注文
あるいは、サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

販売店名

電話(— —)

サービス実施店名

電話(— —)

ご購入年月日

ナカバヤシ株式会社

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2-5-1 TEL 03-3558-1228
大阪支店 〒599-8116 大阪府堺市東区野尻町2-1-3 TEL 072-286-8090
名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2-2-6 TEL 052-661-6151
福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5-7-11 TEL 092-641-3661
札幌営業所 TEL 011-531-1006 仙台営業所 TEL 022-284-3045
広島営業所 TEL 082-536-0250 高松出張所 TEL 087-831-5825



ナカバヤシホームページは下記のアドレスでご覧になれます。

<https://www.nakabayashi.co.jp/eco>